

議会だより

4月5日、盛大に開催された第11回さくらまつり

第11回 西桂町さくら祭り



今年の予算はこう使われます 2~3

■小林町長所信表明 4~5

■一般質問 (6名の議員が町政を問う) 13~19

■本町白寿会 (いきいき交流会) 21

一般会計賛成討論

「第5次長期総合計画」を基本構想に



横田則夫 議員

平成27年度一般会計当初予算は、総額23億831万5千円であり、前年度当初予算と比較して3億5249万6千円の増額、率にして18・02%の増となっており、生涯学習センターとして生まれ変わるYLO会館改築費

用3億2942万3千円を含む大型予算となりました。歳入においては、町税では、景気回復の兆しが見える中、4億144万4千円の計上で、前年度当初予算と比較して1・53%の減であります。YLO会館改築費用の財源を含めて公共施設整備基金等の繰入金2億1259万8千円を計上し、所要の財源確保を図る一方、町債についてはYLO会

館改築事業の財源として1億円を計上し、その他は臨時財政対策債の借入だけでにとどめる歳入予算となりました。歳出においては、「西桂町第5次長期総合計画」の基本構想に基づき、YLO会館改築費用をはじめ、会計制度の見直しに備え固定資産台帳管理のシステム化費用、個人番号制度対応システム改修費、子ども子育て支援のための保育所の実施経費

の増額、全国に先駆け老朽化した中央道跨道橋撤去に向けた設計費用、区要望の町内外灯のLED化の推進等必要な予算が計上されました。予算執行にあたり、町民の福祉の向上のため、なお一層の努力をお願いしたい。

工事に着手

総額23億0831万5千円

3月定例会は平成27年3月6日に招集され、同日に本会議、この後会期中に各常任委員会審査会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、20日に閉会いたしました。町執行部より条例制定改正15件、当初予算7件、議決案件5件、補正予算7件、同意1件、計35件、議会運営委員長より条例1件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決・同意されました。

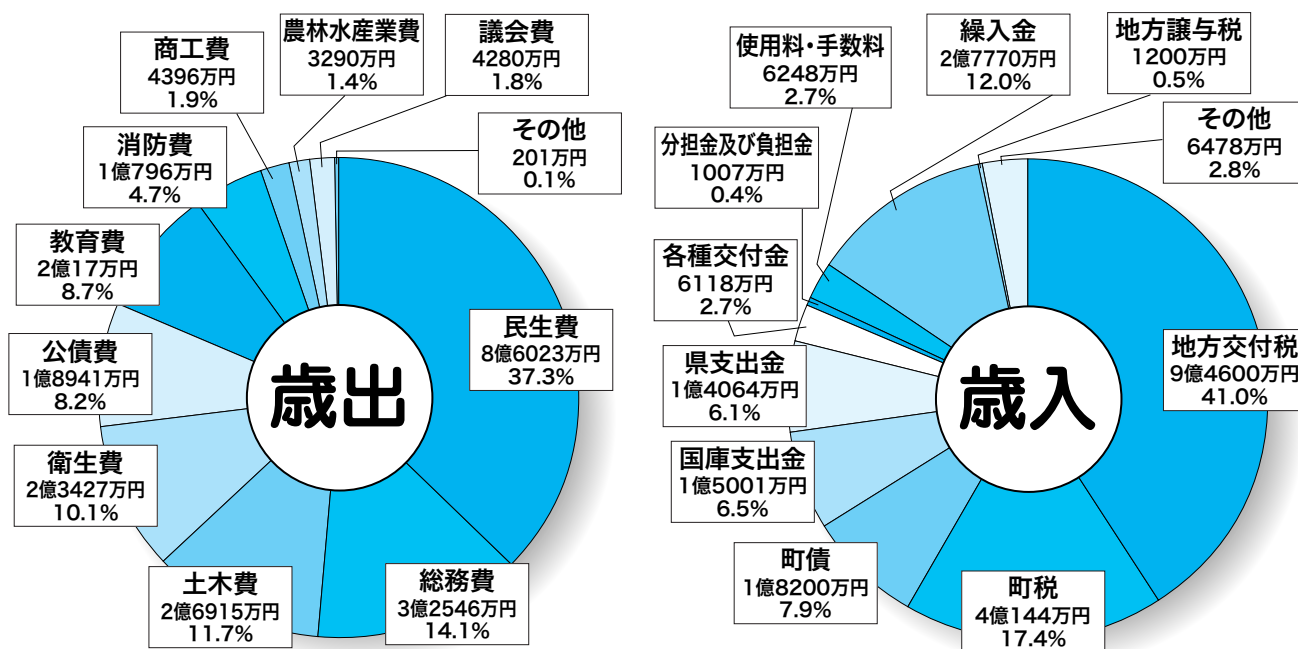


改修工事が実施されるYLO会館

YLO 会館改築

平成 27 年度一般会計当初予算

平成 27 年度 西桂町一般会計当初予算



■基金（貯金）残高 16 億 7742 万円
〔約 37 万円〕

■地方債（借金）残高 18 億 9739 万円
〔約 42 万円〕

※左記の額は一般会計平成 26 年度末見込みです。

※〔 〕内はH27年4月1日現在人口4515人で割った一人当たり額

※地方債（借金）残高には、交付税算入基礎額として後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、全てが借金とはなりません。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

- YLO 会館改築工事（新規） 3 億 2942 万円
- 浅間団地屋根防水改修工事 1168 万円
- 番号制度対応システム改修（継続） 2650 万円
- 学校給食食堂屋根及び照明器具等改修工事（新規） 2000 万円
- 倉見下沢流路工設計（新規） 1163 万円
- LED 外灯器具購入（新規） 130 万円



小林町長 所信表明

ナトリウム灯を3年計画 でLED灯に交換

町では、国からの地域住民生活等、緊急支援のため交付金の決定を受け、地方創生事業に取組み、人口減少に歯止めをかけ、大胆な総合戦略の施策を着実に実施するまちづくりに取組みます。

「参画と協働による まちづくり」

「西桂町民総合調整審議会」や「町長と語る会」、「西桂町協働事業提案制度」等を通じてご提言等をいただく中で、今後の施策等に活かしてまいります。

「地域防災の推進」

町民の生命、身体、及び財産を災害から守るため、地域力の強化に努め「自分の命は自分で守る。家族の命は家族で守る。地

域の命は地域で守る」を基本に防災行政を推進してまいります。

防災備蓄倉庫が完成し、今後は、防災体制、防災備蓄の充実・強化を図ってまいります。

「国際交流事業の推進」

環太平洋学生キャンプ交流事業には、町民が英会話を通じて直接外国文化に触れる国際理解の絶好の機会であり、引き続き実行委員会への支援をしてまいります。

「子育て支援の推進」

延長保育として他所に先駆けて12時間保育の実施を行うとともに、土曜保育についても朝7時15分から18時15分までの保育を実施するなど、様々なニーズに応えるべく事業を推進してまいります。

「介護・生活支援 サービスの充実」

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画が策定され、保健・医療・福祉が連携して適切なサービスや様々な支援の提供に努めてまいります。

「保健・医療の充実」

保健師・栄養士による集団指導並びに個別指導

に積極的に取り組む中で、相談支援体制の拡充に努めてまいります。

また、成人保健は、がん検診と特定健診の受診率向上を図るため、各種の事業を積極的に展開してまいります。



上町に完成した西桂町防災倉庫



3年計画でLED灯に交換

平成27年度 各会計当初予算計上額

全員賛成

会 計 名	予 算 総 額	前年との比較
一 般 会 計	23億832万円	3億5250万円
国民健康保険特別会計	5億2301万円	4356万円
後期高齢者医療特別会計	7544万円	235万円
介護保険特別会計	3億5549万円	3415万円
介護予防支援事業特別会計	63万円	△2万円
簡易水道特別会計	6520万円	△695万円
下水道特別会計	1億9060万円	1094万円
合 計	31億1869万円	4億3653万円

「農林業の振興」

農業委員会と連携し、農地の利用集積を図る中で、有効利用に努めてまいります。

また、松くい虫の防除を行い周辺への被害拡大を防ぐよう取り組んでまいります。

「商工業の振興」

商工会等と連携し、「地方版総合戦略」による、地域創生交付金の活用による商工業振興策を展開してまいります。

「観光の振興」

三ツ峠活性化会議が定めた基本計画に基づき、事業展開を図り、総合的かつ一体的に努めてまいります。

「道路交通網・公共交通体系の確立」

町内2ヶ所の中央道路跨道橋（溝上橋・月夜の平橋）撤去事業は、平成28年度中に撤去してまいります。

「地域の安全強化」

町内190ヶ所のナトリウム灯を3年計画でLED灯に交換する事業を実施してまいります。

「生涯学習の充実」

YLO会館の改修は、町民の生涯学習の推進や芸術の振興、子育て支援等、町民活動の充実を図ることを目的とし、誰でも気軽に立ち寄れ、交流し、関わりを持てる世代間交流施設として、改修し、整備をしてまいります。

「自ら学び考える力を育てる教育」

児童・生徒の自主的な学習（補習や宿題等）をサポートし、学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図ることを目的として、「土曜学習支援事業」を実施いたします。



浅間団地（2棟）屋根防水工事予定



学校給食食堂屋根及び照明器具等改修工事

チェック



庁舎建設基金・防犯灯 LED 化

一般会計予算

●主な質疑・意見

問 町民税の前納報奨金廃止に伴う収納率に与える影響は。

税務住民課長 収納率には影響ないと考えています。

問 固定資産税の27年度評価替えに伴う影響はありますか。

税務住民課長 土地が230万円の減、家屋は増となりました。

問 保育所利用料300万円増の理由は。

福祉保健課 園児の増と管外委託の増です。

問 し尿の手数料は対象が1件となっているが自由競争にならないのでは。

産業振興課長 価格競争よりも継続性の安定を求める政令の趣旨に基づき1社と契約しています。

問 マイナンバー制度の周知をするのですか。

税務住民課長 国民の7割が知らないとの報道があり、町広報で周知して

まいます。
意見 マイナンバー制度を有効活用して町の活性化に繋げてもらいたい。

問 グリーンセンター指定管理者との契約年度のため早期対策は。

産業振興課長 平成27年度が見直し時期なので、内部検討させていただきたい。

問 町民総合調整審議会の応募状況は。

総務課長 12月広報で応募し、現在までに8名の応募がありました。

問 町内防犯灯のLEDへの取替事業の詳細は。

建設水道課長 区長会議及び議会と区長の座談会協議結果を踏まえ、区又は組の電気料削減のためナトリウム灯をLED灯に替える事業を予定しています。ナトリウム灯終了後は引き続き蛍光灯からLED灯への入替を実施していきます。

問 町の高齢化率の状況は。

福祉保健課 65歳以上が1069人、23・4%、75

歳以上が492人、10・8%です。

問 ごみの減量化に向け周知徹底を図ってもらいたい。

産業振興課長 ごみ袋の有料化の検討や分別における周知徹底を図ってきたい。

問 町営住宅については収支の状況のバランスシートを作成し、提示していただきたい。

建設水道課長 近いうちに提示します。

問 防災リーダーの任期が2年で長すぎるのではとのことです。各地区の地域支援担当職員のサポートをお願いしたい。

町長 防災リーダーは区長の業務を軽減するため、区長補佐的業務のため、区長任期の1年とはせず2年にしました。

地域支援職員には地域と役場を繋ぐ役割があり、手厚いサポートをしています。

問 防災備蓄品の内訳を教えてください。

総務課長 資機材の詳細



指定管理者の更新時期がきたグリーンセンター

については6月議会で説明します。

問 スクールガードを増やす考えはあるのですか。

教育次長 現在74名の方にお願ひしています。区長会議の際に各区長に更なる増員についての依頼をしました。

問 スクールガードの皆さんに食事会等の開催は。

教育次長 年に1度、感謝の意味を込めて小学生との給食会にスクールガードの皆さんを招待し喜ばれています。

問 役場では、何名の身障者を雇用しているのですか。

総務課長 1名の臨時職員を採用しています。

さ あ 議 員

マイナンバー制度・放課後児童対策・



毎日、いつもありがとうございます。

国民健康保険 特別会計予算

●主な質疑

問 短期保険証や資格証明証の交付状況は。

答 税務住民課長 資格証明証の交付実績は0世帯、短期保険証は70世帯です。
意見 保険証がないために受診できず重篤患者が

発生しないよう慎重な対応をお願いします。

税務住民課長 小さい町

ですので、ケースごとに状況を見ながら柔軟に対応させていただきます。

後期高齢者医療 特別会計予算

●主な質疑

問 保険証はどのように届くのですか。保険料の算定は。

答 税務住民課長 山梨県後

期高齢者医療広域連合から郵送されます。保険料は均等割と所得割に区分され、2年に一度広域連合で見直しを行います。

介護保険 特別会計予算

●主な質疑

問 介護保険料の県下での水準は。

答 福祉保健課長 町の標準額が6万1千円、県平均が6万5700円、県下で7番目に低いです。

簡易水道 特別会計予算

●主な質疑

問 水道料金の見直し計画は。

答 建設水道課長 水道料金は3年に一度見直しを行います。平成28年度が料

金改定期期ですが、消費税3%増税分を料金に転嫁しましたので改定は見送る予定です。

問 石綿管はまだ残っているのですか。

答 建設水道課長 本年度に取り替えますと町内からはなくなります。

問 水質検査はどのように行っているのですか。

答 建設水道課 国が委託している検査機関に調査を依頼しています。

下水道 特別会計予算

●主な質疑

問 受益者負担金と下水道使用料の徴収率は。

答 建設水道課長 受益者負担金の収納率は25年度72・03%、26年度73・06%で推移しております。引き続き説明会の際等で協力をお願いしていきます。

問 一般会計繰出金で負担している状況です。将来的には改善されるめど

はあるのですか。

建設水道課長 下水道料

金の値上げは、区域外の浄化槽処理区域の維持管理費用とのバランスから、単独での実施は難しい状況です。このため、当分の間は一般会計からの繰り入れが継続されることとなります。



武藤啓子 委員（倉見）

固定資産評価審査委員
の選任に同意
(全員賛成)



補正予算

一般会計補正予算 (第7号)

問 町たばこ税が増額補正の理由は。

税務住民課長 町内にコンビニエンスストアが出店された影響ではないかと思われま。

問 たばこの消費が増えたことによる健康被害が懸念されます。禁煙への取り組みは。

福祉保健課長 禁煙キャンペーンと禁煙指導を行っています。

意見 たばこを取り扱うコンビニエンスストア等の店舗に禁煙ポスターの掲示をお願いしていただきたい。

問 町営住宅の現状の入居状況は。

建設水道課長 入田団地22部屋に対し14世帯入居、浅間団地30部屋に対し27世帯入居、中野団地30部屋に対し25世帯入居、月夜の平団地30部屋に対し21世帯の入居状況です。

問 出生数を増やす施策

を考えていますか。

町長 子育て支援センター、保育所の充実など、子供を安心して育てられる環境づくりのための施策に積極的に取り組みます。

問 いじめ再発防止策の措置は。

教育長 小中学校長にいじめ防止の徹底を指示しています。

問 役場で必要とされる専門職の内容は。

総務課長 建設部門では土木専門職、保健部門では保健師、福祉部門では保育士が必要です。

介護保険特別会計 補正予算(第3号)

問 給付準備基金を積み立てるということは、第5期計画時において介護保険料が余ったということですか。

福祉保健課長 そのとおりです。第6期計画では、基金があることを加味して介護保険料を定めました。

一般会計補正予算 (第8号)

問 いきいき交流会の充実とのことだが、参加規約があり、80歳以上を75歳以上に変更してもらいたい。

総務課長 規約の見直しを社協で進めているところ です。

問 いきいき交流会のボランティアも年々減っていくばかりであり、町のサポートが必要です。

総務課長 ここに掲げた事業は全て町民が関わっていくべきものと考えています。

町長 これらは平成30年度以降の日常生活支援のための事業で、地域で要支援者等の支援をしていくためのものなので、ご理解いただきたい。

意見 いきいき交流会の実情を把握してもらうために、行政や社協にも是非一度見学していただきたい。

意見 地方版総合戦略の



楽しく土曜日も一日運営となった保育所

策定についてぜひ頑張っていたきたい。

意見 国の補正予算議決から日がない中であって短時間でこれだけの事業をよく組んだものと思います。詳細については6月定例町議会で説明するとのこと期待しています。ただし、マイノリティの意見として「地方にお金を落としても、地方は

利益を上げることができない」、「行政主導で利益を上げられるはずもなく、民間主体にすべきだ」との意見もあるので念頭に入れておいていただきたい。

西桂町庁舎建設 基金条例の制定

問 基金の積み立てには賛成です。敷地の確保は早急に図られては。

総務課長 機会があれば用地購入を考えたいと思います。

問 予算で定める額としているが、いつ頃予算計上するのか。

総務課長 3月末の決算状況等を踏まえて、専決処分で補正予算を編成し対応を予定しています。



築45年が経過している役場庁舎

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

問 教育委員長の報酬額を条例から削除する理由は。

教育次長 今回の条例改正の施行日に関しては附則により経過措置がとられており、新教育長が選任されない限りは改正前の条例が適用されます。

問 教育に関する大綱は作成されるのですか。

教育長 多くの市町村では長期総合計画を作成しており、教育に関する施策についてもその中に包括されています。西桂町も大綱に代わるものとして長期総合計画において、教育に関する施策を定めております。

町道路線の認定 (廃止・変更) について

問 町道認定の条件は。

建設水道課長 通常、業者より宅地開発の届出が出され計画内容を審査して、取り付け道路を町道として受け入れるケースが多いのですが、原則4メートルの幅員が必要です。しかし、今回の中央自動車道跨道橋撤去事業のための町道認定や柿ノ木3号線の補助金交付を受けるための町道認定のように、十分な幅員がなくとも認定するケースもあります。

問 道路を寄付すれば町道認定してもらえるのですか。

建設水道課長 公共の用に供することが前提です。特定の民有地への進入路は認められません。

問 現在の教育長の任期は。

教育次長 平成30年4月2日までです。

問 現在、5名の教育委員は5地区より1名の割り当てで選出されています。新教育長が選出された場合、この地区割りとの整合性は。

町長 地区割りは継続したいと考えております。しかし、教育長人事のことを考えた場合、5名の教育委員と新教育長を合わせて6名体制を検討しましたが、法律の解釈に無理があると感じます。新教育長人事を行うまでの間に熟慮したいと思います。

議会改革検討委員会
2月4日実施

調査事項 議会報告会について

結果 町政に関する意見交換会に時間を費やす

●平成27年度の議会報告会運営
実施地区ごとに正副議長、議会改革検討正副委員長、地元議員で構成する。

●テレビ放映の検証
1年が過ぎた所であり、来年度末に検証を行います。検証方法は、議会報告会でのアンケート調査や議員が聞き取り調査で行う。

●一般質問の運営方法
初日に実施するには、先進議会を検証する中で検討する。

平成27年度の議会報告会運営

議会報告会運営担当者は、実施地区ごとに正副議長、議会改革検討正副委員長、地元議員で構成します。

●事務局長概要説明

今年度は、議会活動に関するもの、主に議会費と報酬活動日数とともに平成27年度一般会計及び特別会計の当初予算の審議状況ということに絞って説明し、参加住民との町政に関する意見交換会の時間を増やしていくということで設定します。

テレビ放映の検証

テレビ放映が実施されて1年が過ぎたところで

●議長提案

検証して、議会として結論を出していくことを提案します。

●事務局長概要説明

予算編成時期なので、予算の面から連絡させていただきたいと思えます。昨年度と同額95万円程度の金額を当初予算に計上しており、もし議論を続

けるようであれば、結論が出た際に減額措置が出来ます。
意見 近所の方々の話の中では放送して欲しいと言っております。
意見 予算的に許される範囲であれば私は個人的には放映をした方が良いという意見を持っています。

一般質問の運営方法

一般質問を初日に実施することについては、先進議会を検証する中で検討します。

問 最終日にやらないで初日にやった方が都合がいいというが、それほどいうこと。

委員長 議会開催期間中に委員会などで意見を求めるようにしないと、言いっぱなしになってしまう。

意見 委員会の方の質問が町民にいきわたらなければ結局、デメリットは大きいです。

意見 この方法でやっている議会の状況を調査してみてください。

平成27年度特別会計当初予算主要内容

国民健康保険特別会計予算	○保険給付費2705万円減額・介護納付金234万円減額 ○共同事業拠出金6745万円増額
後期高齢者医療特別会計予算	○後期高齢者医療負担金176万円増額・総務管理費59万円増額
介護保険特別会計予算	○保険給付費307万円増額・基金積立金2800万円増額
介護予防支援事業特別会計予算	○介護予防支援事業費2万円減額
簡易水道特別会計予算	○施設管理費641万円増額・水道改良費1323万円減額
下水道特別会計予算	○管理費442万円増額・新設工事費494万円増額

調査事項 YLO会館改修について

結果 コスト削減を念頭に進める

建設文教委員会
2月13日実施

●教育次長概要説明

本件については、執行部の内容を確認しました。

改修にかかる工事費の総額が3億円を超える予算を平成27年度に計上することで委員の意見を集約し、執行部案に賛成でありました。

委員より「補助金も出来るだけ活用し、改修コストの削減を念頭に慎重に進めていただきたい。」との意見がありました。

●教育長概要説明

3月中に完成予想図を作る予定です。

建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事、備品工事で概算です。トータルしまして3億642万3千円税込みです。また委託料では設計監理費762万4千円、備品等は出来るだけ現在の物を使用し、新規

購入を減らしております。

太陽光発電工事は展示室の屋上部分にパネルを乗せ、蓄電池15kwを設置する予定です。これについては避難所ということで停電の時にも対応出来ます。

歳入として森林整備補助金、次世代育成延長対策交付金、太陽光補助金がいだけることになりました。

工事費及び設計管理費を新年度予算に計上します。5月の中旬頃に入札をして下旬には臨時議会等を開会し、議会の工事請負契約の締結の議決をお願いします。平成28年3月の中旬頃には完成し4月からは新しい建物で

運営を行いたいと考えております。

問 改築にあたり教育委員会の事務所を移転。

教育長 経費を考え、役場2階に事務所移転を考えております。

意見 改築でこれから30年間、安心・安全な建物を造って住民サービスを充実させることが大事であると思います。

意見 補助金も出来るだけ活用し、改修コストは適正な価格にしたいだけでなく、何を念頭に慎重に進めていただきたいと要望します。

委員長 本件を、執行部提案のとおり了承することに賛成の委員は、起立をお願いいたします。

起立、7名ですので起立多数と認めます。原案のとおり了承することに決定いたしました。



YLO会館改修予想図

3月定例会・条例制定改正等

賛成全員

条 例 名	主な内容
行政手続条例の一部改正	行政手続法の改正により、行政指導をする際、許認可等の権限の根拠の明示、中止等の求め及び処分等の求め手続きの規定の追加する条例改正
職員給与条例の一部改正	国家公務員の給与改定に鑑み、行政職等給与表、平均2%の引下げする条例改正
庁舎建設基金条例の制定	庁舎建設その他の整備に要する経費に充てるため基金を設ける条例制定
国民健康保険税条例の一部改正	健全財政の保持及び税の平準化を図るための税率改正する条例改正
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の制定	保育料の徴収根拠等が児童福祉法から抹消されたため、保育施設等の利用者負担の額、その他必要な事項に関し規定を定める条例制定
保育の実施に関する条例の廃止	児童福祉法第24条第1項が改正されることに伴い条例を廃止する条例
介護保険条例の一部改正	3年間の新たな事業量を賄うため、介護保険料等を見直すための条例改正
地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	「第3次地方分権一括法」により、介護保険法及び厚生労働省令が改正され、国の省令で定められたいものを町の条例で定める必要があるための条例制定
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例を定める条例の制定	
公共物管理条例の一部改正	道路法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正
準用河川管理条例の一部改正	
都市公園条例の一部改正	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う条例制定
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育長の職務専念義務の免除等の特例を定める条例制定
教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い教育長が特別職となり、職務専念義務・勤務時間その他の勤務条件を定める条例制定
市町村議会議員公務災害補償等組合の解散	平成27年3月31日をもって組合が解散するため地方自治法第290条の規定による
市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分	平成27年3月31日をもって組合が解散することに伴い同組合の財産処分に係る協議は、地方自治法第290条の規定による
市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う市町村総合事務組合規約の変更	当組合が平成27年4月1日に市町村総合事務組合と統合し、共同処理することとする山梨県市町村総合事務組合の規約変更に係る協議は、地方自治法第290条の規定による
町道路線の認定(廃止・変更)	道路法第8条第2項及び第10条第3項の規定による認定(廃止・変更)
富士吉田市外一市二町四村一組合指導主事共同設置規約の一部変更	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方自治法第252条の2の2第3項の規定による一部変更

3月定例会・平成26年度補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計 (第7号)	△ 3 6 2 5 万円	2 0 億 6 7 1 万円
国民健康保険特別会計	△ 5 9 9 万円	4 億 8 5 4 5 万円
後期高齢者医療特別会計	△ 5 万円	7 3 0 3 万円
介護保険特別会計	2 2 7 5 万円	3 億 5 4 6 1 万円
簡易水道特別会計	△ 2 7 7 万円	7 1 0 8 万円
下水道特別会計	△ 1 1 9 8 万円	1 億 6 7 7 8 万円
一 般 会 計 (第8号)	5 0 6 4 万円	2 0 億 5 7 3 6 万円

補正予算の主な内容 (※全会計において、事業終了による事業費の減額更正あり)

一 般 会 計 補 正 予 算(第7号)	○歳入 地方交付税 3500万円増額、繰入金 7203万円減額、繰越金 1863万円増額、町債 1405万円減額 ○歳出 民生費・児童措置費 763万円減額、衛生費・保健衛生費 2615万円減額、土木費・道路橋りょう費 2729万円増額、都市計画費 834万円減額
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○保険給付費 80万円減額、共同事業拠出金 410万円減額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○後期高齢者医療負担金 5 万円減額
介護保険特別会計補正予算(第3号)	○保険給付費 643万円減額、基金積立金 2916万円増額
簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○総務費 74万円減額、水道改良費 203万円減額
下水道特別会計補正予算(第2号)	○管理費 438万円減額、新設費 760万円減額
一 般 会 計 補 正 予 算(第8号)	○歳入 国庫支出金 3641万円増額、諸収入 1 千万円増額 ○歳出 総務費・(地域活性・住民生活等緊急支援) 5064万円増額

一 般 質 問

6人の議員が町長と教育長に質問しました。

質 問 者	質 問 事 項	ページ
瀧口幸男 議員	1、行政の姿勢と活性化の取組 2、鳥獣害被害防止と捕獲強化策 3、新しい奨学金減免制度	1 4
郷田和美 議員	1、要支援移行への取組み 2、地方創生の対応	1 5
小山正則 議員	1、道德教育に対する対応は	1 6
横田則夫 議員	1、外部の力を生かした新しい観光資源の発見	1 7
小林 剛 議員	1、交際費の公表を 2、入札結果の公表と範囲拡大	1 8
藤江雅江 議員	1、アクティヴ・シニア・プラン 2、グリーンベルトの今後の展開	1 9



一般質問

瀧口幸男 議員

問

行政の姿勢と活性化の取組

答

住みやすさや生きがい
実感できる町を目指す

瀧口議員

空き家対策も必要ですが、働き場所確保があつての人口増や町の活性化につながりますので、空き工場を無くして行く努力が必要だと思います。町長が先頭に立って、空き工場の再稼働を目指して努力してほしいと思います。また、認知症高齢者のケア在宅医療、地域医療連携ネットワークへの期待もますます強まる認識があるならば、町単独で努力する事を積極的に進めてほしいと思います。ご所見をお伺いします。

町長

空き工場についても、所有者に対し意向調査を行い、空き家バンクと併行して前向きに取り組んでまいります。

急速な高齢化の進展に伴い、地域医療の確保や地域住民の健康の保持・増進、介護サービス

の充実など、医療・福祉の充実を進め安全・安心なまちづくりを進め、住みやすさや生きがいを実感できる町を目指していきます。

問

鳥獣害被害防止と捕獲強化策

答

取組み組織の活性化に支援

瀧口議員

ここ数年来、町内で猿・イノシシ・鹿・ハクビシンなどが一部の動物を除き山奥から麓へ、そして住宅地へと動物たちの活



猿害対策のオリに入ったサル

町長

今年、富士吉田市の柿取り隊のメンバーを講師に招き、サルの被害軽減及び人家出沒の軽減の知恵を得るべく研修会を開催し、今後も引き続きサル追い隊の活動を支援してまいります。鳥獣被害防止は、取り組み組織とそれに加わる人づくりが重要であり、取り組み組織が活性化するように今後も支援してまいります。

問 新しい奨学金減免制度は

町長 広域的に連携するとともにに学生を支える対策を検討。



一 般 質 問

郷田和美 議員

問

要支援移行への取組み

答

市場・行政・医療介護職における分野を超えた連携を

郷田議員

現在の改正は、庁内全体を巻き込んだ大きな制度改革になるとの認識のもと、なによりも全庁上げての情報共有が必要になります。今後幅広い住民ニーズに対応した町の地域資源を生かした主体性のある地域支援事業としていくことが喫緊の課題であると考えております。

特に地域の各種団体などの社会資源を活用し、適切な仕組みを構築して行くことを強く期待します。どのような方針で取り組んでいくのかご所見をお伺いします。

町長

地域の力を最大限に引き出して、介護保険依存から脱却する核となるもので、介護人材の不足の中で、生活支援を効率的に提供する方法を見出すことは、介護分野の今後を考える上でも

カギになると思います。

今後も、市場（民間）・行政・

医療介護職における分野を越えた連携を図ってまいりたいと考えております。

問

地方創生の対応は

答

「地方版総合戦略」を全庁体制で策定

郷田議員

地方創生はその地域に在る資源を生かし、発掘し、その地域の雇用を生み出し、人が楽しく

きいぎとする環境を作ることによって人が集まる地域を作ることだと考えます。是非ともリーダーシップをさらに発揮して頂き、小さくてもキラリと光るまちづくりの為に企画を期待しております。ご所見をお伺いいたします。

町長

第5次長期総合計画の後期基本計画を策定する中で、当町にある資源を発掘し、その個性を活かし、地域の雇用をつくり、地域が楽しくいきいきする環境をつくり、人が集まり、豊かな地域社会が実現し、「人が輝く、地域が輝くまち にしかつら」につなげるための、「地方版総合戦略」を策定したいと考えております。



みんなで体操する参加者の皆さん



一般質問

小山正則 議員

問

道徳教育に対する対応は

答

小中学校連携による
道徳教育の推進を図る

小山議員

への対応について、教育長の所見を伺います。

教育長
当町では、県の学校教育指導重点を基に「平成27年度西桂町学校教育指導重点」を作成し、学校に配布し県同様に道徳教育に取り組んでいただくとともに、連携教育を柱として小中学校の先生方で構成されている西桂町教育協議会へ小中学校連携による道徳教育について、取り組ん

でいただくようお願いしてまいりたいと考えております。
道徳の教科化につきましては、教育課程の中で各学校とも年間の教科時間数が決まっていますので、県教育委員会や小中学校と連絡調整をするなかで可能な限り道徳の時間を取りたいと考えております。

なお、道徳教育は、学校だけではなく家庭や地域がそれぞれの役割を果たしてこそ成り立つものですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小山議員

昨今の状況を見ると、川崎市でおきた中学1年生殺害事件等、殺人・自殺・虐待等々の新聞報道がほとんど毎日掲載されるのを見ると、私のみならず誰しも暗い気持ちになることは否めない事実であります。

幸いにも当町においては、そのような暗いニュースは無いので安心していただいておりますが、それゆえに他市町村に先駆け道徳教育の充実を図り、当町の子供たちが心豊かな人間性を持った、思いやりにあふれた大人として成長できるよう、特段のご配慮を期待いたします。

文科省は「教材を読むだけの読み物道徳から、考え、議論する道徳への転換を図りたい」としている。との新聞報道がありました。道徳教育は、人として生きていくための「道しるべ」となる教育であり、これからの西桂を担っていく児童、生徒が正しい道徳知識を習得し、人の心の痛みがわかる、心根の優しい大人に成長することを願ってやまない次第であります。

学校評議員による評議委員会が開催され、その席上でも道徳教育について話題になり、小学校校長の話によると、山梨県においても道徳教育については来年度より、希望制により先行授業ができるようになるということです。小、中連携して先行授業することが必要であると考えます。

道徳教育への取組み、教科化



真剣に「命の授業」を受ける児童たち



一般質問

榎田則夫 議員

問

外部の力を生かした
新しい観光資源の発見

答

企業等と連携して外部からの
力を活用して観光事業に反映

榎田議員

町長

県内の観光業は大変裾野の広い産業となっており、今後も観光客の増加が見込まれ、2020年の東京オリンピック時には、富士北麓は大いに賑わうものと期待されます。この機会は利用すべきです。

富士山・富士五湖地域は、観光客数が年間で約2000万人

「固定観念にとらわれない、枠組みに収まらない若者。いままでのやり方を知らないよそ者。彼らからイノベーションは生まれる。」と言われており、地域振興のイノベーションのため、既存の枠組みにとらわれない人達との協働が必要であります。新しい観光資源の発見、観光メニューの構築のために外部からの力を活用し、地域で消費に繋がる観光客の誘致の拡大等にむけた取り組みを始めるべきと考えます。町長のご所見を伺います。



観光資源の三ツ峠山を大いに活用

にも及ぶ国際的観光地域であります。近隣にこのような観光エリアを抱えているにもかかわらず、当町においては、町域が富士山と接していないこともあり、その効果を受けているとは言い難い状況にあります。

三ツ峠山からの富士山は、NHKの朝の番組で放映されているほど眺望が素晴らしく、雄大な富士山を裾野まで見渡せる絶

好のポイントであり、植生も変化に富んで大変魅力的な山であります。

平成26年度には、三ツ峠活性化会議において、西桂町の観光旅客の来訪及び滞在促進を総合的かつ一体的に図るための「三ツ峠活性化推進事業基本計画」を定め、三ツ峠のみならず西桂町の観光資源の創出や磨き出し、並びに観光に従事する団体個人の育成について、取り組むべき事業を明らかにしたところです。

また、昨年放送された「ヤマノススメ」というアニメの効果により既存の枠組みにとらわれない若者がアニメに共感した結果、多く訪れたものと考えております。今後は、このような若者の効果を検証し、企画会社等と連携するなど、外部からの力を活用して観光事業に取り組んでまいります。

榎田議員

観光客の増加が見込まれ観光客誘致にしても、地域活性化の作業にしても、自治体、地域間の厳しい競争となっております。スピードが大切になってきており、若い力を活用し基本計画の早急な実現に向けた対応をお願いいたします。



一般質問

小林 剛 議員

問

交際費公表を

答

交際費は外交的に必要
公表を検討

小林議員

議会交際費について議会改革
委員会の席上、議長交際費の公
表について、議長申し出のとお
り公表する事に全委員が賛同し
ました。

近隣市でも市長交際費は平成
19年度分から、議長交際費は平
成24年度分から市のホームペー
ジで見る事が出来ます。また、平
成25年度の県外視察研修の訪問
先では、平成20年度分から公表
しています。

当町も地方公共団体の支出の
透明性を図るためにも、町長・
教育長交際費を新年度から公表
を始めるべきと考えます。町長
の考えを伺います。

町長

交際費は、対外的に活動する
ときに、町政の執行をより円滑
に進めるために、外部との交際
上必要な経費です。

先進地議会議長交際費公表状況 例

項 目	件 数	金 額
お祝		
弔慰		
見舞い	1件	10000円
会費・会費相当	1件	5000円
協賛・賛助		
その他		
合 計		15000円

平成27年4月

月 日	内 容	金 額	項 目
4月12日	50周年記念式典	5000円	会費
4月20日	病氣見舞い	10000円	見舞い
合 計		15000円	

毎月支出がある場合にホームページに公表している。

※交際費とは、地方自治法に規定された歳出予算区分の一つで、市長等が市を代表し、外
部の個人又は団体との交際のために支出する費用で、「慶祝」「会費」「弔慰金」「見舞金」
などがあり、地方自治体の円滑な行政運営を図ることを目的に対外的に要する経費です。

小林議員

現在「250万円以上の建設
工事の入札・見積結果」は町ホ
ームページで公表されておりま

問

入札結果の公表と範囲拡大

答

建設工事等の請負契約等
公表範囲の拡大検討

す。

現状では、公表内容が建設工
事に限定されているので、Y L
O会館改築調査測量設計業務委
託契約は、案件にもかかわらず
非公表です。

近隣市では落札額8万4千円
の業務契約も公表しています。
近隣市では125万円の業務契
約でも公表しています。

町民の町行政への関心を高め
るためにも情報公開による透明
性の確保は大切です。

新年度からの公表基準の引き
下げと公表範囲の拡大について
伺います。

町長

入札結果の公表範囲の拡大
は、西桂町建設工事の請負契約
に係る入札及び契約に関する情
報の公表要領に基づき公開して
いますが、公表範囲の拡大につ
きまして検討してまいります。



一般質問

藤江雅江 議員

問 アクティヴ・シニア・プラン

答 包括支援センターの総合相談体制構築

藤江議員

近い将来には3人に1人が高齢者となっていく当町においての「先手必勝」の環境づくりは、専門職員と包括支援センターの設置が必要ではないのかと考えます。今後ますます高齢者社会が急速に進んでいく中で、西桂町の高齢者が積極的に元気に楽しく過ごしていくための「アクティヴ・シニア・プラン」について町長のお考えをお伺いします。

町長

包括支援センターの総合相談体制を整えて、相談実績を積み重ねることにより、町民の皆様に周知を図ってまいります。

介護や福祉を考える上でも、地域力はキーワードになり、介護の分野にも自助、共助、公助の住み分けが必要でありますので、区長や民生委員、医療機関、

社会福祉協議会、介護事業者等と連携して取り組んでまいります。



路肩整備予定の町道小沼中央線

問 グリーンベルトの今後の展開

答 路側帯のカラー化・可視化により実施

藤江議員

グリーンベルトがあることは、通学路における安心・安全という理解も高まるのではないので

でしょうか。必要な箇所への早急なグリーンベルトの可視化（見える化）が必要と考えます。今後の展開について町長にお考えをお伺いいたします。

町長

小学校への登校中、児童が車両等との遭遇によりヒヤリとしたこと、ハツとしたことの事例の調査を実施した結果、町内13箇所の危険箇所が判明しました。平成27年度当初予算に計上し、路側帯のカラー化、可視化を実施してまいります。

本年1月に「西桂町通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が連携して児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図ってまいります。

児童生徒の安全確保を図るため、グリーンベルトの実施に限らず、あらゆる方策を検討してまいります。

追跡



一般質問のその後 あの質問はどうなったずら

跨道橋の管理、 事故対応は

質問

藤江議員

中央道に架かる2本の跨道橋（溝上橋・月夜の平橋）は、ネクスコ中日本から道路完成時に移管されているものですが、どのように管理し、有事が発生したときの対応は。

答弁

町長

ネクスコ中日本、県、跨道橋所在市町村で維持管理に関する協議会を設立し協議を開始した。

緊急時の対応は、連絡体制が確立されている。利用者の少ないインフラの撤去を検討する必要がある、地域や議会の意見を伺う中で判断する。

現状

利用者がほとんどいない状況ではありますが、ネクスコ中日本による日常点検、目視点検、緊急点検が実施し、町でも目視点検などで有事にいたらないよう管理している。

中央高速道路・跨道橋撤去（2箇所）の 基本方針案に同意

建設水道課長 撤去に関する意見募集として、町ホームページや広報、役場窓口対応も含めてパブリックコメントを実施し、賛成・反対とも意見はありませんでした。

また、倉見区長、上町区長、農業委員会正副会長、倉見森林管理組合長の5名の関係者から撤去についてのご同意書をいただいております。

平成24年12月の中央道笹子トンネル天井板崩落事故を受けて全国の自治体管理の橋梁やトンネルの点検管理、維持補修が声高に叫ばれている中、跨道橋の撤去に関する取り組み事例として全国先進自治体ということで当町の2橋の跨道橋撤去についての概要と経緯、また今後の予定が記載されてこれが国土交通省本省のホームページでアップされているところでございます。

委員 撤去費用収支はどのようなになっていますか。



来年度撤去予定の溝上橋

建設水道課長 基本的に事業費の65%が国の補助金、国費、またその補助金を除いた額の事業費の9割を起債で賄うといった負担割合になると思います。

委員 町の負担は現状でどの程度考えられますか。

建設水道課長 工事費等は、約8300万円、65%を国の補助金、残り35%のうちの9割を起債で賄う考えでおります。当初予算を3月に審議していただくこととなります。今現在、設計費用1000万円を27年度に計上し、その内の65%を国費です。

委員 同意書の案に議員がどのように対応したらよいか。

委員 安全面からも速やかに実施した方が良いと思います。議長には署名をしていただいて各団体と足並みを揃えた対応をお願いします。

議長 町内2箇所の中央自動車道跨道橋撤去に関する同意書については、各関係団体の同意書も得られておりますので撤去することで町長に提出します。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その60



本町白寿会の会員の皆さん

訪問先

本町いきいき交流会 白寿会

代表：渡邊 真弓

取材日：3月14日
渡辺議員、槇田議員

問 団体名は。

渡邊さん いきいきサロン本町白寿会です。

問 代表者のお名前は。

皆さん 渡邊真弓です。

問 スタッフは。

渡邊さん 7名です。

問 会の活動日は。

皆さん 毎月第二火曜日に公民館で楽しく過ごしています。

問 活動内容は。

渡邊さん 会員は、現在7名前後で、暦に合わせて各種行事を入れながら公民館でお弁当等のおもてなしをしております。午前11時から午後1時までとなっています。

問 町民や行政、議会に望むことは。

渡邊さん 会員やボランティアを増やしながら現状を見直していく必要があるのではないかと考えています。

皆さん 大勢で大きな声で歌を唄ったりおしゃべりすることが一番楽しいようです。

折り紙、塗り絵、頭の体操、指の体操などいろいろ

ろ行っています。

渡邊さん 地域の対象者に声をかけていますが、まだ参加したことのない人もできれば一度来てほしいです。

月に一度ですから大勢で楽しく過ごしてくれ



楽しく会話や食事をする会員の皆さん

ばと思います。

皆さん 高齢者なので歩くことが大変。地域割りでなくて、町民であれば近い場所での利用をさせてほしい。

言ってみたい！
聞かせてよ！

さくら祭りを 見学しました

取材日：4月5日、渡辺議員

皆さんが聴いてくれて
楽しく演奏ができました。



伊奈利征さん、
春翔ちゃん、

恵理さん、
裕翔ちゃん

問 さくら祭りの感想は。
利征さん 初めてですが桜もきれいで多くの人が参加してとても楽しいです。
問 町に要望することは。
利征さん 遊具も少しありますが小さい子供が安心して遊べる遊具があればと思います。
恵理さん 土日に出かけられるこの様なイベントを多く開催してほしい。

都留市在住



手織り体験とても楽しいです。



渡邊淳さん、
淳平ちゃん

江身子さん、



問 さくら祭りの感想は。
淳さん 町内のお店が沢山出展していて、とても楽しいです。
問 町に要望することは。
淳さん これからも若い人達が住みやすい町を築いてほしい。
江身子さん 働いているお父さんが交流できる場所を計画してほしい。
問 保育所を利用していますか。
江身子さん はい、今年年長組になります。

町内在住



宮下清美さん、
小夜子さん、
大森宝ちゃん、
羽田良一さん、
道子さん

問 さくら祭りの感想は。
清美さん 天候に恵まれてとても楽しい一日を過ごすことができました。
友達に誘われてきましたが式典やイベント内容がとても充実してとても楽しいです。
問 町に要望することは。
清美さん 小さな子供達が安心して遊べるキッズコーナーがあればと思います。

富士吉田市在住

議会の傍聴を
お願いします。

次回定例会は6月中旬です。
詳細は6月5日頃、ホームページにて公表します。

編集委員長 渡辺 隆
副委員長 横田 則夫
委員 井上 秀樹
委員 小山 正則
委員 瀧口 幸男